

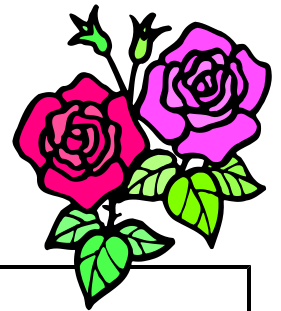
黎明

学校だより
柳川市立城内小学校
R3. 5. 21
No. 2
発行者 立花 輝

新緑の季節を迎えました

薫風の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。城内小学校では、新年度が始まり、早一ヶ月半が経ち、子どもたちも、学校生活に慣れてきたように見受けられます。年度当初の緊張感も少しずつ和らぎ、本来の子どもたちの姿を取り戻してきているように感じます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大防止を第一に考え、本年度も学校教育が始まりました。そこで、本年度の重点目標（子どもたちの1年間の目標）を下記のように設置致しました。



重点目標

自分の考えをつくる子どもの育成

指標1:相手の話を聴くことができる子ども 指標2:自分の考えを書くことができる子ども
指標3:自分の考えを説明することができる子ども 指標4:気持ちのよい挨拶ができる子ども
指標5:掃除に取り組む子ども

「自分の考えをつくる子ども」とは、学習面において、毎時間の問題に対して自分なりの答えをつくったり、自分なりの考えをつくったりすることです。45分間の授業において、自分の考えをつくり、つくった考えが、正しかったのか、もっとよりよい考えがあったのか等を確認していきます。ですから、自分の考えがつかれないと、友だちの考えを、ただ聞くといった受け身の学習になってしまいます。正しいか、間違っているかではなく、まず、自分なりの考えをつくり、他の友だちの考えと比較して、自分の考えがよかったかを比べたり、自分の考えをより確かにしたり、友だちの考えのよさを付加してよりよい考えにしたり等の子どもたちの姿を目指したものです。そのためには、まず、相手の話を聴けることが第一です。教師の発問や指示を聴き取ることができなければ、考えをつくることはできません。また、自分の考えをつくるためには、絵図や言葉等を書きながら自分の考えを整理していきます。そして、整理したものをもとに説明することにつながっていきます。これら一連の学習過程を大切に授業を実践していきたいと考えています。



また、このことは、学習面ばかりでなく、生活面においても同様です。指標4や指標5にあげています挨拶や掃除でも、どんな挨拶をすればよいのか、掃除の時間は、どんなことを頑張るのか等、自分の行動目標をしっかりと、実践につなげていくことが大切だと考えます。上記した指標は、重点目標を達成するために必要な礎となる目標です。指標を達成することで、重点目標が達成できたと判断できる観点です。子どもたちの頑張りとお高まりを期待しています。

よりよい挨拶を目指して

今年度に入り、「よりよい挨拶」の習慣化を目指して、全校で取り組んでいます。よりよい挨拶とは、どんな挨拶かを考えてみますと、レベル1…元気な声で挨拶ができる、レベル2…相手の目を見てあいさつができる、レベル3…自分から進んで（先に）あいさつができる、レベル4…立ち止まり一礼してあいさつができる、レベル5…〇〇さん、〇〇先生と名前をつけてあいさつができるというように、同じあいさつでも、レベルに大きな違いがあります。今の自分からレベルアップした挨拶ができるようになって欲しいと願っています。ご家庭でもあいさつの意義（意味や必要性）についてお話しいただければと思います。

